

6月定例会

会期内容

6月13日 本会議(開会)・委員会

◇特別委員会の中間報告・質疑 ◇議案2件(報告案)説明・質疑・討論・採決 ◇議案5件(契約案)説明・質疑・討論・採決 ◇議案4件(単行案)説明・質疑・討論・採決 ◇議案1件(単行案)説明・質疑・討論・採決 ◇議案10件(補正予算案・条例案)説明・質疑・委員会付託 ◇陳情2件委員会付託 ◇静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙 ◇議会運営委員会

17日 委員会

◆総務市民分科会・委員会 ◆産業教育分科会

18日 委員会

◆福祉保健分科会・委員会
◆建設消防分科会・委員会

20日 委員会

◆予算決算委員会

23日 委員会

◆議会運営委員会

24日 本会議

◇議案10件、陳情2件委員長報告・質疑・討論・採決
◇議案4件(人事案)説明・採決 ◇富士市議会議員の派遣について・採決 ◇一般質問

議案の審議結果

※太字は
委員会付託
議案です。

全会一致で可決、承認、同意した議案

報告 専決処分の承認

富士市税条例の一部を改正する条例制定
富士市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

予算 令和7年度 補正予算

富士市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
富士市病院事業会計補正予算(第1号)

条例 条例の改正

富士市職員の勤務時間、休暇等に関する条例
富士市職員の育児休業等に関する条例
富士市税条例
富士市立小規模保育事業所の設置等に関する条例
富士市ひとり親家庭等医療費助成金支給条例
富士市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例
富士市駐車場条例

契約 契約の締結

富士市原田まちづくりセンターリニューアル主体工事
令和7年度公営住宅富士見台団地C棟全面的改善事業に伴う主体工事
令和7年度新富士駅南地区土地区画整理事業田子浦往還通り線(川成島地区)街路築造ほか工事

6月定例会常任委員会の審査等

予算決算委員会

(補正予算3件)

【委員長】小池智明

【副委員長】小池義治

【委員】委員長、副委員長を除く全議員

総務市民分科会

●全小中学校で「しくみ～なふじ」を実施できるよう、基金に頼らない実施開催方法を

要望 企業版ふるさと納税基金からの繰入れにより、SDGsプロジェクトエッグ応援補助金を600万円増額し、公教育と連動したキャリア教育プログラムの実践を計画する団体への交付を通じ、市内の小中学校5校で社会体験カリキュラム「しくみ～なふじ」を実施するとのことですが、来年度以降については、市内の全ての小中学校に展開できるよう、寄附金に頼らない実施方法を検討してください。

福祉保健分科会

●国の補助金が見込めない中央病院にラピッド・ドクターカーを導入する意義は

問 入が国の補助対象となるようですが、補助金をもらえない二次救急医療機関である中央病院でラピッド・ドクターカーを導入する意義はどのようなものですか。

答 富士保健医療圏には三次救急医療機関がなく、ラピッド・ドクターカーを所有する医療機関がないので、中央病院がラピッド・ドクターカーを導入することでより多くの市民を救うことができます。また、ドクターカーを所有する病院は救急専門医から人気があることから、今後さらに中央病院を選ぶ医師が増えると見込んでおり、医師確保の上でも大きな意義があると考えています。

※ラピッド・ドクターカーとは

医師が救急現場に向かうための自動車です。これを導入することで、救急専門医が現場で直接診察を行うことができ、治療開始時間が短縮されることで救命率の向上が見込まれます。



産業教育分科会

●今後、給食室改修中の小中学校に対し、富士川学校給食センターから給食を提供することは

問 学校給食センター施設管理事業費348万円余の増額は、給食室の改修に伴い、自校での給食提供ができない岩松北小学校に対し、富士川学校給食センターから給食を提供するため、配達コンテナ等必要な備品を購入するとのことですが、今後多くの小中学校で給食室の改修が計画されているが、給食についてはどうのに対応する予定ですか。

答 富士川かりがね橋が開通し、配達が容易になったため、富士川学校給食センターから岩松北小学校へ給食を提供するものです。今後、他の小中学校にも学校給食センターから給食を提供することが考えられますが、学校給食センターの施設・設備の老朽化や、市内東部の小中学校への配達は時間がかかるなどの課題があります。一方で、保護者の負担軽減などの観点から、給食室が改修中であっても、可能な限り給食の提供を継続したいと考えています。給食室の改修に伴う給食の在り方については、現在検討中であり、今後方針を示したいと考えています。



▲富士川学校給食センター

建設消防分科会

●廃止となるバス路線の直近の収支状況は

問 自主運行バス等運行事業費を665万円余増額し、旧富士川町のバス路線である大北線が今年9月末に廃止となることに伴い、10月から自主運行バスの実証運行を行うことですが、現在の交通事業者による直近の収支はどのようになっていますか。

答 令和6年度実績では、運行経費1595万円余に対し、運行収入337万円余で、1258万円余が欠損額でした。